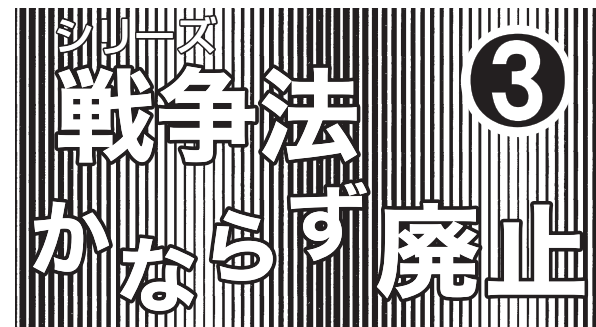


ぐんぐん広がる2000万人署名 1人10人分を達成しよう



有権者の5分の1の署名で 政治を動かす

「戦争法廃止を求める2000万人統一署名」は、いま全国でぐんぐん広がっています。

「成立」した法律の廃止は簡単ではありませんが、この2000万人署名で圧倒的多数の国民の声を示し、参院選で安倍政権に審判をくだすことで、道が拓かれます。

では、2000万人とはどんな数字でしょうか。2013年参院選挙や2014年総選挙の自民党比例票はどちらも約1800万票です。それを上回る2000万人、有権者の5分の1の署名を集めきって、政治を動かしましょう。

平和でなければ 命と暮らしはまもれない

各労組はいま「平和でなければ命と暮らしはまもれない」と取り組んでいます。生協労連は、多くの職場で理事会と共同して店頭署名行動や学習会をすすめています。建交労は経営者とともに「戦争に加担する輸送を断固として拒否する」として「労使共同で署名に取り組む」ことを宣言しました。全教も、組合の違いを超えて共同で取り組み、校長も含め職場全員から集めきった職場が増えています。



さあ、あなたが運動の主人公

100人以上から集めたピースチャレンジャーが各地に誕生しています。いつも署名用紙を持ち歩き、町内会、趣味の友だち、昔の同僚など、あらゆる機会に訴えると「戦争はイヤだと共感しあえる」と語ります。また、学習会に参加した後、署名デビューした青年が「自分の足で行動し、より気持ちが入った」と語るなど、行動に参加して成長する経験も増えています。「署名ローラー作戦」など住民からも集めきろうと地域をまわっている組合もあります。さあ、あなたも運動の主人公！1人10人分を達成しましょう。

職場、地域での学習、宣伝用にお使いください